

アクレックス 3700 ツバキ

---

仕 様 書

---

和信化学工業株式会社

---

木工塗料事業部

---

平成 年 月 日

---

## アクレックス 3700 ツバキ

アクレックス 3700 ツバキは天然椿油配合の屋内用水系ナチュラル仕上げ塗料です。従来の水系塗料では乾燥が早い為に困難であったウェス等による拭取りが可能でありオイルフィニッシュ調の仕上がりにより木材が持つ素材の美しさをより引き出すことが出来ます。

§ ホルムアルデヒド放散等級 F W01347

### § 特 長

天然椿油配合のオイルフィニッシュ調仕上げ塗料です。

水系塗料でありながら、拭取り性が良好です。

一般的なオイル系自然塗料と違い、塗膜からのホルムアルデヒド放散等級が F レベルであり、「拭取ったウェス等による自然発火の恐れ」はありません。

乾燥が約4時間と早いので1日2工程が可能です。 自然塗料と比べて

仕上りはベツキ、もどりがなくサラッとした手触りが得られます。

臭気が少なく作業中でも気になりません。

厚生労働省「屋内空気汚染に係わるガイドライン」に適合し、トルエン・キシレンなどの指定13物質を使用していません。

### § 用 途

壁、天井、腰板等 屋内の木部全般への塗装  
工芸品のような木製創作品などへの塗装

### § 使 用 方 法

1. 使用前によく攪拌して、中身を均一にして下さい。
2. 塗装前に、木材の汚れを除去し、サンドペーパーによる素地調整を行って下さい。
3. 原液で塗装ができます。水での希釈も可能ですが、希釈しすぎると求める仕上がりにならない事がありますのでご注意下さい。(希釈10%までが目安です。)
4. 標準塗装回数は2回です。通常は2回とも塗布後にウェス等で拭取って仕上げますが、1回目のみを拭取らないことでシットリ感をアップする事ができます。(拭取らない場合は塗布量を少なくして下さい。塗布量が多いと乾燥が遅くなり2回目塗布後の拭取り時に取れてしまうことがあります。)
5. 着色仕上げをする場合は、ツバキ 100 に対して 10%を上限目安としてアクレックス 3000 ホーステインを混入して下さい。

#### 【アドバイス】

- ・塗布量が多めのほうが拭取り性は良好になります。
- ・2回目の塗布の際、ツバキ100に対して5%程度水を加えることで拭取り作業性がより向上します。
- ・テーブルの天板等仕上りが重視されると場所には塗装前の水引き研磨をお勧めします。毛羽立ちや吸い込みムラを大幅に抑えることができます。

水引き研磨 塗装面を水で濡らし、ドライヤーで乾燥させた後に研磨する方法

## § 塗料性状

外 観	乳茶褐色	カラータイプは各色
粘 度	19秒±2秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.05±0.02	25 (ウイトカップ)
保管安定性	異常なし	50 1ヶ月保管

## § 乾燥性目安

塗布量 50 g/m<sup>2</sup>

乾燥時間 3～4時間 (気温/湿度、20 /50%)

気温や材の種類等条件によって乾燥時間は変わりますので参考として下さい。

## § 塗膜性能

項 目	結 果	条 件
耐酸性		5%酢酸水 スポットテスト 24時間
耐アルカリ性	×黒変	5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24時間
耐水性		水道水 スポットテスト 24時間
耐アルコール性		60%エタノール水 スポットテスト 24時間
耐溶剤性		塗料用うすめ液 スポットテスト 24時間 キシレン スポットテスト 24時間
耐インキ性	黒×赤×	インキ スポットテスト 24時間
耐マジック性	黒 赤	24時間後ベンジン拭取り
耐クレヨン性	黒 赤	24時間後ベンジン拭取り
耐湿熱性		塗膜上に沸騰水を撒き、その上に 300 cc沸騰水入りビーカー 30分放置

カバ合板 2回塗装 7日間乾燥

## § 塗装工程

### 1. オイルフィニッシュ調仕上げ

工程	使用塗料	塗布量	備考
素地調整	P150 ~ P220サンドペーパー		
下塗り	アクレックス 3700 ツバキ	50g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
拭取り	ウェス等で塗布後すぐに拭取って下さい。		
乾燥	3 ~ 4時間		
研磨	P320 ~ P400サンドペーパーを軽くあて毛羽を取ってください。(省略可)		
上塗り	アクレックス 3700 ツバキ	50g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
拭取り	ウェス等で塗布後すぐに拭取って下さい。		
乾燥	一晩養生		

手触り感を上げる為には毛羽取り研磨を行ってください。

着色仕上げをする場合には、10%を上限としてアクレックス 3000 ホア-ステイン を混入して下さい。その際の研磨は色取れにご注意下さい。

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

### 2. オイルフィニッシュ調仕上げ(シットリ感アップ) ; 下塗りのふきとりなし

工程	使用塗料	塗布量	備考
素地調整	P150 ~ P220サンドペーパー		
下塗り	アクレックス 3700 ツバキ	40~50g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
乾燥	4 ~ 6時間		
研磨	P320 ~ P400サンドペーパーを軽くあて毛羽を取ってください。(省略可)		
上塗り	アクレックス 3700 ツバキ	50g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
拭取り	ウェス等で塗布後すぐに拭取って下さい。		
乾燥	一晩養生		

下塗りは塗布量を少なめにして下さい。塗布量が多いと乾燥が遅くなり2回目塗布後の拭取り時に取れてしまうことがあります。

手触り感を上げる為には毛羽取り研磨を行ってください。

着色仕上げをする場合には、10%を上限としてアクレックス 3000 ホア-ステイン を混入して下さい。その際の研磨は色取れにご注意下さい。

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

### 3. 着色クリアー強靱仕上げ ; 着色剤として使用

工程	使用塗料	塗布量	備考
素地調整	P150 ~ P220サンドペーパー		
着色	アレックス 3700 ツバキ アレックス 3000 ホアーステイン	100/10 40 ~ 50g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。 拭取ることもできます
乾燥	3 ~ 4時間		
研磨	P320 ~ P400サンドペーパーを軽くあて毛羽を取ってください。(省略可)		
中塗り	アレックス 3400 木部用ウレタンクリアー	80 ~ 100g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
乾燥	2 ~ 4時間		
研磨	P320サンドペーパー		
上塗り	アレックス 3400 木部用ウレタンクリアー	80 ~ 100g/m <sup>2</sup>	刷毛で均一に塗布して下さい。
乾燥	一晩養生		

色が薄い場合には着色を2回にして下さい。その際2回目は必ず拭取って下さい。

中塗り、上塗りにアレックス 3405 木部用ウレタンフラットを使用することで、艶消し仕上げにもできます。

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

## § 使用上の注意

気温5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが問題となったり、求める塗膜性能が出にくくなる場合がありますので避けて下さい。

本品は水系塗料ですので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。又しっかりとフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

刷毛などの塗装器具は、乾かぬうちに水でよく洗って下さい。乾いてしまうと水では落ちにくくなりますのでご注意下さい。その際はラッカーうすめ液等をお使い下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。